

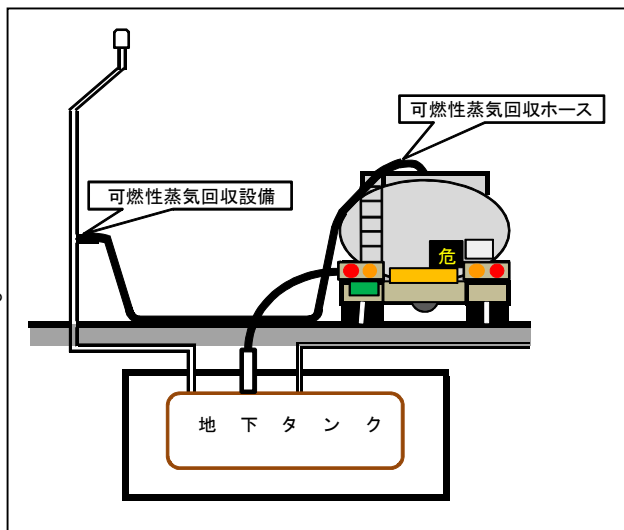
27 可燃性蒸気回収設備について

1 可燃性蒸気回収設備とは

移動貯蔵タンクから給油取扱所のタンクに危険物を注入するときに出される可燃性蒸気を当該移動貯蔵タンクに回収する設備です。

可燃性蒸気の大気への排出を抑制できるため、爆発等の事故の防止が図れます。

また、光化学スモッグなどの大気汚染の防止につながります。



2 可燃性蒸気回収設備使用時の注意点

可燃性蒸気回収設備を使用するときは、

可燃性蒸気回収ホースを通気管側と移動タンク貯蔵所側の両方に結合してから荷卸しを開始してください。

また、可燃性蒸気回収ホースは、劣化による亀裂や損傷がないか日常の点検を徹底するとともに、予備のホースを完備することが望ましいと考えられます。

3 県内の事故事例

移動タンク貯蔵所から給油取扱所の地下タンクに荷卸しをする際、給油取扱所に可燃性蒸気回収ホースが完備されていなかった。しかし、給油取扱所内に、途中で切れているホースがあったため、これを通気管側にだけ結合し、ホース末端を通気管後部の受水槽小屋外壁上に上げたまま荷卸しを行った。

そのため、可燃性蒸気が受水槽小屋内に滞留し、ポンプ作動時の電気火花により引火し、爆発した。(H21)

